〔第三種郵便物認可〕　昭和七年十月四日　磐城新聞　〔火曜日〕　第三千五百四十六號　（一）

夕刊
磐城新聞
十月三日　發行
定價　月額金六拾錢　金五錢　金拾錢
廣告料金　一行　金六拾錢　二行　金九拾錢　三行　一回金壹圓
磐城印刷株式會社
磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

# 紙上の啖呵と漫談（四）

……詩南車問題其他……

大井川みち子

『新聞紙法』といふ代物は定期發行物にして保證金を供託せぬ限り、時事的な又はこれに直接關係を有する事柄、或いは之に類する記事を掲載すれば違反行爲として處罰する樣に仕組まれてゐる、イデオロギッシュな文字作品は稍々ともすれば叙上の法律的制縛に觸れ易い、俺達が保證金を拵へて堂々と發行出來るなら文句はないが問題はその『金』だ――と。

詩南車を代表して、前記の如く叫ぶか叫ばないかはさりらぬが、兎に角これに類似した意思を持合せてゐる者はあるであらう。だとすれば吾々とても同感である。

だが、この法律的問題は便宜に後末に於て解決に近い私見を述べることゝし、拙論を進める。

○

『對立は發展の過程である！』之は無駄口をきく迄もなくマルクスの曰つたことだ、詩南車を回ぐる二つの戰線が今後幾多の理論的對立、抗爭の過程を過程する裡に文學的な諸種の成長と諸般の發展とが齎されることは私は信ずる、從つて筆陣を堂々と張り、大いに理論的鬪爭を鬪爭することに對しては何等異口異議を挿むものではない。

○

が、この鬪爭方法に於て感情に拘泥はりアラ搜しの釜取眼で揚足取とコジツケに終始してゐたのでは駄目だ、在來の詩南車に對する攻撃の性質を見るに、斯ゝ態度絶對に無し！と何人が保證し得よう。

殊に郡司一郎君の『詩南車解剖論』は最も卑劣低級なる『野次もどき』行爲であると斷ずる。

遺憾な事には手許に當時郡司君の書いた『――解剖論』がないので逐一引由して批判し得ないが、島田忠夫君が郡司君であると無きを問はず、あれなどは實効果的に啓發せしめ、以て正しい方向にアフエベンさすべきである。

ニズムだとすれば彼のグルッペの内部にフラクションを作つて漸次ヘゲモニーを握るなり、又は何人かを組織内部にエージェントして

○敵無きは不運なり（バブリアス、サイラス）

風吹かば吹け雨降らば降れ、憂き事の猶此の上に積れかし、限りある身の力ためさん

四圍の壁過をして益々難ならしめよ斯くてこそ希望は只前に近づきたるものである」

時代警語

○年老いし父母のこと思ひつゝ長雨つゞく町にいで來つ

（添削のあとを見ること）

野口やす

○谷川の水のなごみのメダカ等は人の氣はいに散りみだれ居り

千草かほる

○久々に會ひしひとびを睦まんと寫師と友ゝ窓近く集へり

○一日を語り暮らす席作らんと友は窓べに倚子引よせり

## 磐城新歌壇

小山田滋選

永井江喜

○年老いし父母のこと思ひつゝ長雨つゞく町にいで來つ

（添削のあとを見ること）

野口やす

○谷川の水のなごみのメダカ等は人の氣はいに散りみだれ居り

千草かほる

○久々に會ひしひとびを睦まんと寫師と友ゝ窓近く集へり

○一日を語り暮らす席作らんと友は窓べに倚子引よせり

## 散る秋（民謡）

茨城　涼香

あなたのためにわかれませうと涙かくして
いふたけど
ホロリ散る秋
またなかされる

## うれしい住居

手なべ
さげても
四でふ半
おかゐ
へだて
手をかさし
もつとおよりよ

## 新刊紹介

△大津みやげ（市原陸郎、島田忠夫共編）陳套な類型を脱した瀟洒たる案内記。横綴四二頁、挿入寫眞二十八葉、卷末に同地の民謡を添ふ（一部二十錢大津町淺川屋、水戸川又平野兩書店、平町マルトモ書店發賣）

## 隨筆……浴泉雜記

島田忠夫

（1）

浴泉に一番よい季節は矢張り晩秋であると思ふ。その故か、私は今までこの期に一番温泉廻りをしてゐる

×

加賀「山中温泉へ行つたのは、未だ先年の大火で燒けない前で秋雨の頃吉野屋といふ宿に三四日泊つた。所謂湯女がゐるのと湯が外湯で一等二等といふ具合にでこの共同湯が設けてあり、宿から湯券を買つて入りに行くのが特種である。後者は億劫でもあるし」この外湯には但馬の城の崎温泉がありこの城の崎も先年震災で荒される以前に私は行つてゐる

山中の湯女を『山中の獅子』とも呼ぶ。山中唄に加賀の山中にそろしとてよ、夜の夜中に獅子が出る

といふのがある。この獅子は、湯女が客と共寢して朝歸りするのに、面はゆさに前掛をすぽりと被つて町を歩くから來たのであつて『お獅子』に似てゐるからといふにあるらしい、エロ的な話だ、同じく山中唄のエロ的な唄に

鐵砲かついで來た山中で、シシも撃たずにから戻りといふのがある。

×

山中温泉では、こほろぎ橋附近が仲々温泉景勝の地であつて芭蕉がこゝに遊んだことは『奥の細道』にも書かれてゐる。やまべがよく釣れて浴客の膳をよろこばせる。

忘れしやんすな山中道を、東松山西や藥師峰に松風谷には嵐、あ

ひの山中湯の流れ

といふ唄もある。

山中に隣して、山代粟津の二湯があるが、景勝の點で山中に敵はぬ。秋雨せうせうたる時、湯に浸つてき

く山中の溪音は更に妙である。昔芭蕉のこゝに身を休めたことなど思ひ、一層床しみが深い。殊に昔こゝには俳人多く出で桃妖の如き芭蕉の直門も居り、金澤の北枝と共に蕉風派のために奮つた所である。

×

九州、熊本市から三つ程手前に高瀬といふ町あり、こゝから一里程入つて龍眼寺温泉がある、餘程以前になるが熊本へ童謡の講演に赴いて、主催者に連れられて行つた。菊地川沿岸の紅葉もよく、流れもよかつた三池炭鑛の人達がよく來るので設備もよく浴槽も立派である、熊本辯で腹かきよ（立腹の意）むしんよか（立派、美しいの意）を覺えたのもこの宿の女中からである。

九州の温泉は、他にも別府とか、青蟲とか、二三へ行つたが、親しめなかつた温泉はやはり山雲溪河を控えて始めて風趣あるが如くである、この點で長崎の雲仙は仲々好いやうである。

## 講談　お蘭陀お蝶

（148）

渡邊默禪作

布施長春畫

若し松吉の密告しにもう一晩遲かつたならば二人の運命は猶未來があつたのである、三好屋一家は無事であつたのである。

コト、コト、コト、突然戸を叩く音がした

『もし御隱居さま、ちょつとお開け下さい、松吉でございます、モシ御隱居さま！』

揚齊はふつと耳を立てゝ

『誰だ、誰だな、おう番頭どんか、何んぢや今頃やつと目を覺ました樣な

『はいアノ旦那がな、急病で……大苦みにばた〳〵藻掻いてゐらつしやるんで大變で御座いますよ』

『えつ！伜が急病？』

揚齊は驚て座を立つた

『それでお内儀さんがな、直ぐとあなたさまをお呼び申して來いと云ふ言ひ付けでどうぞお急ぎなすつて……もう九死一生でございますよ』

『いや、それは大變だ』

揚齊は慌てゝ出ようとする、その袖をお柳が抑へて

『モシ大丈夫でございますか、アノ番頭どんは常平生質のよくない人で御座いますから御油斷なさらずにもつと詳しくお聞き糺しなさいましてから』

と低聲で止めた、虫が知らじだものであらう。

『何？疑念も時にこそ依る伜が急病と訊いてはじつとしては居られませぬわ、お越え、勢込んで室内に躍り込まうとする出會頭、轟然たる響、諸共大鹿の手に投げつけられたやうにどつと

『御用だ！』

途端に鐘を破る樣な叫聲はやての如く踊り込んだ一團の黑影

『やッ！捕方ッ！』

二人はぎょつと飛起きた同時に灯火はふつと消えたぞい！神妙になされ、將軍『格之助、ソレ豫ての用意を！』

『畏まりました』

父子二人は闇中に逸した忽ちにして闇然

ドドン踏み込む捕吏の足下に大爆音、落雷のやうな家鳴諸共炎々として渦き揚る紅焔

其の火を冠つて、やつと突撃した格之助の白刃、稻妻の閃きは、黄なる煙に隱顯するよと見る間に二人の捕吏はばたりと左右に斬り

伏せられた

不意の爆發、猛火、咄嗟の狙撃、霜刃、瞬く内に先の二人は薙ぎ倒され後ならは煙にむせび焔に煽られてさつとばかりに身を引いた

大鹽は此處へ落ちて來る時に幾斤かの火藥を革袋に入れて携帶して來た、無論職に使用する目的であつたのが今は其の必要もなくなつたので萬一事發覺に及び捕吏に襲はれた場合に防禦の武器として是を利用すべく格之助にも言ひ含めて置いた、敵の面前に爆發したのがそれだ

與力の内山彦次郎は衆を指揮すべく蹴放して扉を飛

部屋の外に彈き返された同心の身体に突き當つて、ひよろ〳〵と後へためらつた

偖は彼にも備へあるかと驚きながら

『大鹽先生、幕命でござる！』

と大音に叫んだが、ばち〳〵と物の燒ける音、濛々として凄じく噴出す煙ばかりで更に應へはない、其の下から血塗れになつた同心が苦しげな呻きを揚げる。

## 社會の今日

△大鹽先生、幕命でござる！

△佛國歴史家ギー生る（一、七八七）△東京商大生、豫科專門部廢止反對運動で警官隊の亂鬪△ハーンドン、パング、ボーン兩氏の北太平洋無着陸横斷飛行機ミス、ヴイードル號淋代出發シアトルに向ふ（昭和六）

## 社會の今日

△令律の問答私記を選定せしむ（天長三）

10月4日

△七、〇〇A　ニュース
△九、〇〇A　氣象
△九、一〇　料理献立（里芋のソース煮）宇多繁野
日用品値段
△一〇、三〇A　趣味講座（書畫骨董を通じて見たる達磨）舟越靈戒
△正午A　時報
△後〇、〇五　俚謡（一、江差追分　二、米澤松坂　三、定義節　四、あいや節　五、磯節　六、大漁節）
△〇、四〇A　ニュース
△二、〇〇A　家庭大學講座（明治文學の曉鐘當選小說『神髓』の意義と價値）早大教授本間久雄
△二、二五A　運動競技（六大學野球リーグ戰試合狀況）
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇A　ニュース
△六、〇〇A　（子供の時間）獨唱：本多信子
△六、二〇A　コドモの新聞
關屋五十二
△六、二五A　英語講座（中等科）ジョージ、ケイジャー
△六、五五A　カレント、トピックス　ハロルド、バーマー
△七、〇〇A　ニュース　氣象
△七、三〇A　趣味講演（大東京の今昔）文學博士笹川臨風
△八、〇〇A　ラヂオ風景（大東京ラヂオ風景）押田信恭：作
△九、三〇A　時報
△九、三一A　滿洲よりニュース　氣象

秋ヲ代表
イタシマス洋食
松茸ソテイー
松茸フライ
松茸ライス
ビフステーキ
メンチボール
チキンソテイー
紅茶
上御酒二十五錢
洋食。喫茶。宴會
コンパル
電話六六六番

セダン揃ひて！
貸切專門の！
昭和タクシーへ
三四三番

共濟病院案内
磐城
院長　醫學博士　石山謙郎
内科　醫學博士　石山謙郎
小兒科　醫局員　佐久間粹
外科　醫學博士　杜重次
喉耳鼻咽科　醫學士　有馬勇二郎
皮黴科　醫學士　五十嵐雄二
産婦人科　醫局員　佐久間粹二
X光線科　醫學博士　石山謙
技師　工藤慶造郎
衛生試驗所　醫學博士　石山謙
技師　高後利雄郎
藥局　藥劑士　吉本孝平
△診療時刻　午前八時より午後五時迄
但急患は此の限りに非ず
平町　磐城共濟會
電話六四一番

耳鼻咽喉科專門
日本醫大院長醫學士　鈴木正男
齒科口腔外科
日本齒科科長醫學士　鈴木喜政
下谷區入谷町二九一
入谷改正通り東交番前
鈴木醫院

なまむし粉藥の微妙なる靈能
肺、助膜、心藏、慢性胃腸病、神經衰弱、動脈硬化、不眠症、子宮、血の道、神經リウーマチス、便祕、精力減退の人
強精強壯滋養料トシテ御試シ下サイ驚ク程効メガアリマス。
平町五丁目二十二金光堂時計店裏
井内

漆器の御買入時
漆器は空前の大暴落を致して居ります。再び得難き最底絶好の御買入時です
共は漆器を專門に在庫品を豊富に取揃へ
各位の御滿足を得るに努力致して居り桝此の絶好機に御求めを切に御奬め申上げます。御滿足を得らるやう！何如樣にも御相談に應じます故是非一度御照會を。
各國產漆器專門卸小賣
共榮漆器店
（平町3町目36元郵便局裏通）
店員募集　十二三才…小店員　三十才迄…外交員　優遇す

夜診
胃腸科　内科　十二指腸病虫病
專門部　内科
梅毒科　淋病　皮膚病　婦人病
專門部　外科
松村醫院
胃腸病　性病
（平町南町電一〇七番）

專門
一般内科
内科六何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
川井内科診療所
醫學士　川井安重
女醫　川井子之

## 月曜論壇

### 水道記念品經緯、

記念祝福すべき大東京の誕生劈頭に於ける感想の中に某々主腦者は、今後如何にして都政の公正を期すべきやに就て詠歎的口吻を洩らして居る。近くは學村鼎沸の混亂を捲き起してゐる双葉郡大久村の如き、其の大小如何を問はず白日下に公開出來ぬ奇怪な事件の發生は、蓋し自治團体として若干のプロパビリチを認めねばならぬ事に惡因緣づけられてあるかも知れぬが、それも事により是であつて我が平町が少くとも最も良き憶ひ出の對象であらねばならぬ上水道擴張竣功式の記念品に就て醜陋唾棄すべき或の種の經緯を生じ、延いては最近之れが善後の檢討に關する町會を秘密會に附さねばならなかつたが如き醜態を演ずるに至つた事は町近來の一大失策であつて寔に沙汰の限りと謂はねばならない。

聞くが如くんば問題の發端は之れが決定の衝に當つた某吏員が、徒に首鼠兩端を持して胸中何等の自信無く一部の非理を容れた爲で要漸增と共に大に今後の伸展を期待されてゐるが最近適々同炭鑛が恰も他に讓渡されるやに無根の風評が傳へられ同氏は少からず迷惑してゐるが右に就き同氏は

云々

と語つた

## 常磐發送炭の增加に
## 恒久的の見極めがつく
### 期待さるる今後の好景氣

漸次需要季に入つたのと製糸工場等の操業伸展から昨今頓に活氣を呈して來た常磐炭界は既往兩三旬來引續きの送炭量增加に永らくの沈滯氣分から脱しつつあるが去月二十一日以降三十日迄の分も

營業用　三、六九五車
四七、〇〇九噸　省用
一、一四八車　一七、二
七一噸　合計　四、八四
三車　六四、二八〇噸

で前年同期に比し業營用八百九車を減じたが數量は千三百五十七噸を增し通計八千百八十八噸の增加を示し同月中の通計では實に一萬六千二十九噸の增加を示し愈々送炭量の增加は決して一時的の變調で無く恒久性のものと見極めがついたやうである

## 無根の讓渡說に
## 川瀨鑛主の迷惑
### 訛傳の出所を語る

川瀨幸治氏の經營に係る赤井村川瀨炭鑛は曩に五千噸の鐵道納炭を契約し、舊債以外勞働者の賃銀は完全に支給して現狀維持には毫末も支障なく永らくの不況に拘らず個人經營としては最良の成績を擧げ昨今の需要漸增と共に大に今後の伸展を期待されてゐるが最近適々同炭鑛が恰も他に讓渡されるやに無根の風評が傳へられ同氏は少からず迷惑してゐるが右に就き同氏は

同鑛の一局部を斤先堀りしつつある石澤、西澤兩氏は最近經營を持續し難い事情が生じた爲斤先堀りの權利を他に讓渡すべく持ち廻つた事實があるらしく之によつてそうした訛傳が生れたものと思はれるが一個の確信を以て今後微力乍ら大に伸びやうとする自分にとつて一方ならぬ迷惑である。

云々

## 中小商工業者の
## 融資促進を陳情
### 伏見町長今日出縣

平町に於ける市街地中小商工業者低利資金融通方の申

## 石城の代表選手
## 三種目に全勝
### 縣体育大會で万丈の氣を吐く

縣下第九回青年體育大會は勝した郡聯合青年團選手は今三日午後三時五十六分平驛頭で歡迎有志に挨拶後自動車五台に分乘し樂隊付で町内を練り廻り午後五時から

報告西山副團長（祝辭）
藤田縣聯合青年副團長、
大森同顧問（選手の挨拶
開宴）

次で盛大な歡迎會を催した（開辭）多田井團長（經過

したが戰績次の如し

砲丸投1佐藤兼介一一米二五（大會新記錄）百米1草野仁一一秒五（豫選一一秒九）一萬米3關場喜平治、走巾跳1佐藤兼助六米六四五、走高跳2鈴木武雄一米七〇、四百米3大谷岸雄、八百米リレー1石城チーム（草野、川俣、關口、中井川）一分三七秒五（大會新記錄）千五百米2小菅新一（計三四點）

劍道（加藤幸、田子三郎木田芳中）一二點優勝、柔道（阿部克英、荒川久根本武夫）十點二五優勝

## 選手歡迎宴
### 今夕マルトモで

競技日和に惠まれて

## 第三區兒童の跳躍
### 昨日高月台上の壯觀

郡第三區兒童競技會は昨二日午前九時から磐中グラウンドに於て內郷校を先頭に（川前、樋賣薬權）十四校男女代表選手七百餘名の入場式を行ひ曾我會長の開辭、小野審判長の注意あつて競技を開始したが秋天高く絶好のスポーツ日和で觀衆數千名に達し三十四種目中前年度の記錄を破つたもの二十一種目あり非常な好成績であつた、一二等入賞（郡下大會出場權者）次の如し（走巾）中二津津ヨシ、同正木千鶴子、飯野草野マサヨ、好尋吉田〃サオ、好高本間進、好尋矢吹增男、好間一鈴木彌、平二國井キミ、平二飯島ふみ、赤二鈴木トヨ子平窪木田ヤイ子、本間アイ子、好高[illegible]山ヒロ、赤二田所トミ子、平窪薄葉ヒサ子、平三高野弘子、平二中村春子、平窪萩原秋子、平淮星八重子（三段跳）好高前田清治、平一瀨戸利夫、小川萩野高赤一宮本勝三、內高小池正、好高本間政雄、赤一樋口廣、佐藤秋義（走高跳）好高本間政雄、好高武石利雄、赤二佐藤秋良飯野阿部利功、內一平崎久夫、內二菅原勝朗、赤一坂本輝、內一草野仁良（〃球投）平一田中忠太郎平一關內弘吉、赤一馬上幸、平窪渡邊正司、平二七秒2佐藤（古河）3阿部（磐中）百米背泳1富岡河炭鑛で、近縣の覇者を總ら磐中グラウンドに於て開催されるが參加者五百名餘

## 最高六十二圓三十錢
### 四倉繭市況依然好況持續

四倉繭市場昨二日の取引左の如く依然高値を持續し養蠶家を欣躍させて居る

錢
草野雄辯大會　青年團主
白總繭數千百五貫、最高
六十二圓三十錢、最低四
十八圓、買剔五十五圓十

## 煉炭工場開始に
## 反對氣勢熾烈
### 七丁目に險惡な空氣

平町七丁目坂本實外三名の煉炭工場は地元及隣接民六名の猛烈な反對と地主郡山市橋本萬右衛門氏の解約を押切つて鋭意工事を急ぎ十名の借地料不納を申合す等飽愈々一兩日中竣功の運びに至つたが之に憤慨した區民は夫々調印を取纏め同工場に對し其筋に之れが撤去方を陳情し一方地主の制肘策として附近一帶に亘る橋本氏の作業開始と共に火防及衛生上の不安に襲はる本業を守り和合が第一▲三碧の人　志の大なるは宜しきも未だ進む時にあらず▲四綠の人　附景氣は煙の如し堅實に定業を勵めば後吉▲五黃の人　何事も落付が肝要移轉旅行後難を免れ難し▲六白の人　進んで利あり退きて益なし企業開店最良し▲七赤の人　天祐到來萬事進んで展開すべき日多辯注意▲八白の人　平穩無事なれども心を引締めされば乱あり▲九紫の人　氣分そう快にして物事順調に齊び成るべき日

## 石塚君凱旋
### 神谷村

下神谷（向ふ鎌田）石塚武雄君は去る二月下旬

## 尋ね廻つた父親を
## 十年目に搜し當つ
### 薄倖の美代女に甦生の歡喜

十年前別れた親兄弟を尋ね廻つた東京玉の井四の七一市毛一吉田勝信（四百米繼走）（平三、平二）（飯野、內美代（三）は最近足尾銅山に坑夫をして居る實父吉三郎を搜し當てた旨昨二日同人內縁の夫東京市葛飾區本田町澁井町八五五武田省吾から平署にお禮の端書が屆いた

## 昨曉四倉海岸で
## 金比羅丸船火事
### 漁具及漁獲物損害二千餘圓

昨二日午前二時半頃四倉海岸に繫留中の同町新町鈴木實治氏所有アグリ船金比羅丸より出火したのを乘員が發見大騷ぎとなり附近の應援を受け消火に努めたる結果同三時鎭火したが網其他漁具及漁獲物の鰯を燒失し損害約二千圓に上る見込、

鈴木藤次郎氏は此程平署で開いた管內衛生事務研究會で多年同事務に執掌し改善刷進に貢獻した廉に依り書籍と筆筒に感謝狀を添へ小田部會長から表彰された

## 度量衡。計量器。
## 吸入用酸素。
## 酸素吸入器。
### 關內藥局
電話四〇番

## 新記錄續出

## 古河大接戰の
## 常磐炭礦庭球
### 捷つ

第十九回常磐炭鑛聯合庭球大會は輪番古河炭鑛幹事の下に昨二日午前十時から同鑛忍滑コートに於て開催したが戰績次の如く古河軍の勝利に歸した

（第一回戰）

磐城　入山
（猪根本一—四小原）
（狩）
（高田三—四福田）
（鹽）
（柴田二—四長谷川）
（會）
（永野一—四松本）
（今）
（志賀本三—四立花）
（山）

（第二回戰）

磐城　好間
（永井○—四石井）
（下）
（鳥）
（佐藤）

（高田○—四三野）
（猪）
（狩）
（今根本一—四安齊）
（野）
（大）
（横田○—四鎌田）
（會）
（志賀本三—四大沼）
（山）
（田）

第三回戰

入山　好間
（小高原○—四大沼）
（福）
（田）
（長谷川三—四鎌田）
（比）
（佐勇）
（越智田○—四矢野）
（福）
（松本二—四石井）
（比）
（佐親）
（立花倉二—四安齊）
（岩）
（大）

## 健保運動會
### 十六日磐中で開催

縣警察部健康保險課主催競

## 昨曉四倉海岸で
## 金比羅丸船火事
### 漁具及漁獲物損害二千餘圓

昨二日午前二時半頃四倉海原因調査中

鈴木村長表彰　豊間村長

## 小名濱で
## 漁大鰯
### 今曉小名濱のアグリ船から鰯八百箱三萬二千貫が陸揚げされたが相場は一箱五十五錢平町の小賣相場が一束十四錢で頗る一帶は異常の活氣を呈した

空腹で平署へ　植田町渡邊箒筒店方山下修（三四）は去月末解雇され平町に職を求めに來たが見付からず空腹のため昨二日夜平署の保護を受けた

只飲みの公判　相馬郡小高町大字原前科九犯渡邊菊次郎（四九）は去二十八日平町白銀町北野ドク方で二圓七十錢の無錢飲食をなし今三日平區で公判開廷

優さしいけん子さん　小名濱小學校一年生乃木けい子さんは昨二日平第二校へ宛て四家元訓導への見舞金一圓を送つて來た

酌婦を誘拐隱匿　平町五丁目金融仲介業齊藤惣太郎（三）は昨二日深更田村郡三春町大町料理店馬原清藏方抱酌婦佐藤ソノエ（三）を甘言を以て誘拐し前借二百五十圓を踏ませて貸切自動車で逃走平町大町某方に匿まつてゐるのを平署に檢擧され目下取調を受けてゐる

債務調停法施行　平區裁判所では一日から債務調停法が實施されてゐるので最初の受理に興味を以て期待してゐるが未だ一件もない

## 記事輻湊に付
## 滿洲行休載

平町傳染病一束　平町大工町鐵道官舍木下清（九）は腸チブスと決定昨二日何れも隔離された

平區罰金科料　小名濱船引場横橋宗夫（二九）は八月六日柴田仙助と口論の末同人に全治一週間の傷害を與へ▽平町材木町助川彌太郎（四七）は七月二十日廣野村淺見川に於てカーバイトを流し雜魚一貫匁（價格二圓）を獲り何れも罰金二十圓▽平町大工町高比良勝彌（三三）は一月十九日赤井第二校で執行された節閲點呼に出頭せず科料十圓を此程平區から言渡さる

## 平町廳弔錄

△出生
四丁目一九星町市藏長男準一
銀治町九茨城郡日立町宮田
三四五三小林義平六男茂
紺屋町四九宮城縣才鹿郡波渡町根
岸下伊勢谷地五六守谷千代松二女
明子
鎌田町二二あ都三省長男省一
白銀町三八茨城縣那か郡勝田村勝
倉一四八六宮崎義雄二男茂

△婚姻
二丁目二一小松三造（五八）磐崎村下
湯長谷一町二八木田セイ（三七）

△死亡
紺屋町一橋本鶴太（九〇）
八幡小路一二好間村下好間大舘二
九四藤內トク（九三）

諸判定廳帶
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部・神誠館

| 舊五月 | 火曜日 | 新十月 |
|---|---|---|
| 九日 | 戊午 | 戊午 |
| 先勝 | | 大安 |
| 四月 | | 十月 |